

平成29年度予算見積調書

課室名: エコタウン環境課
 担当名: エコエネルギー推進担当
 内線: 3068 (単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|---|---------------|------|---|------|------|-------------------|---------|---------------|------------|
| B22 | 二重窓断熱促進事業費 | | | 一般会計 | 総務費 | 環境費 | 環境保全推進費 | ヒートアイランド対策推進費 | |
| 事業期間 | 平成28年度～平成30年度 | 根拠法令 | 地球温暖化対策の推進に関する法律、埼玉県地球温暖化対策推進条例 | | 挑戦項目 | 10 新たなエネルギー社会の構築 | | | |
| | | | | | 分野施策 | 051143 地球温暖化対策の推進 | | | |
| 1 事業の概要 | | | 5 事業説明 | | | | | | |
| <p>特別養護老人ホームの窓を二重窓化することによって断熱化を進め、施設の省エネルギー化を図る。断熱化による省エネ効果等を検証し、他の福祉施設や住宅へ二重窓の普及を推進する。</p> <p>(1) 老人福祉施設二重窓促進補助 27,328千円</p> | | | <p>(1) 事業内容 夏期に住宅に入る熱の約70%が窓から侵入し、冬期には48%の熱が窓から外に逃げている。既存の窓ガラスを複層ガラスに交換したり、内窓を設置するなどの工事は比較的手軽に実施でき、建物の断熱性能を高める効果が高い。 新築やリフォームで二重窓化が進んでいる住宅と比較すると、事業系の建物では二重窓の設置が進んでいない。昭和から平成の初めに建設された特別養護老人ホームは、窓の断熱対策が十分でない施設がほとんどである。</p> <p>ア 老人福祉施設二重窓促進補助 ・特別養護老人ホームへの二重窓設置費補助 9,000千円×3施設=27,000千円 ・事務費 328千円</p> <p>(2) 事業計画 平成28年度からの3年間事業を実施し、窓の断熱化工事を普及させる。</p> <p>(3) 事業効果 老人福祉施設の窓を二重窓化することによって、施設の断熱性能を高め、CO2排出量を削減する。検証した効果を発信することによって、県内の福祉施設や住宅への二重窓導入の拡大につなげる。</p> <p>(4) その他 公募により窓の熱貫流率のグレードや施設の構造が異なるものを選定し、モデル化を進める。</p> | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (県 1/2) 社会福祉法人 1/2 | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 なし | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円 | | | | | | | | | |
| 予算額 | | | 財 源 内 訳 | | | | | 一般財源 | 前年との 対比 |
| 決定額 | 27,328 | | | | | | | 27,328 | △8,969 |
| 前年額 | 36,297 | | | | | | | 36,297 | |